

シルバー とうきょう

NO.345

2024.1.15

CONTENTS

02-07 「安全就業特集」

令和5年度 シルバー人材センター安全大会

令和6年度 安全就業標語募集中！

安全就業に関する事例発表 三宅村シルバー人材センター

基調講演「事故防止対策の“見える化”と効果検証への取り組み」

安全就業パトロール報告 ～令和5年度前半を過ぎて～

08-09 令和5年度 東京都福祉局 高齢者施設における分身ロボット活用支援事業 中央区・文京区・清瀬市SCが傾聴業務を受託

東京手仕事展（東京都中小企業振興公社主催）通訳業務

令和5年度 総務省デジタル活用支援推進事業

東京都デジタルサービス局主催 スマートフォン体験会

10 シニアしごとEXP02023

11 「介護予防・日常生活支援総合事業」の現況について

12 適正就業のポイント 就業現場における適正就業確認のお願い

シルとうで知る！センターの取り組み 港区シルバー人材センター

13 職員向け経営支援研修 会員・運営面に関する研修の実施

シルバー人材センター等労働者派遣事業 令和5年度上半期実績

14 「シルバー人材センターに入会しませんか」

・これからシルバー応援フェスタ ・高齢者活躍人材確保育成事業

15 会員向け技能講習

シルバー人材センター役職員研修

シルバー保険事業室だより

公益財団法人東京しごと財団
（東京都シルバー人材センター連合）



令和5年度 シルバー人材センター

令和5年9月29日(金)、都内シルバー人材センターの役員、会員の皆様、関係機関の皆様、計86名に参加いただき、東京しごとセンター(飯田橋)の講堂が改修中のため、東京しごとセンター多摩で「令和5年度シルバー人材センター安全大会」を開催しました。今年度は規模を例年の5割まで戻し、集合形式での開催となりました。



理事長の開会挨拶

中澤理事長の開会挨拶

安全活動は、長期間にわたり日々の安全計画の実践とその振り返り、さらに実行計画の見直しを絶やすことなく繰り返していく、PDCAを実行することで、より大きな効果を発揮します。本日の事例発表と講演が、皆様の日々の安全活動に大きく役立つことを期待しております。

安全就業優良センターおよび令和5年度安全就業標語の表彰

今年度の安全就業優良センターは4つのセンターで、「過去3年間に死亡事故及び、重篤な後遺障害が残る事故がない」「度数率及び強度率が優良である」などの「安全就業優良シルバー人材センターの表彰基準」を満たし、表彰となりました。

また、安全就業標語は、応募総数3,838点から、最優秀賞2点と優秀賞8点が表彰されました。当日会場には最優秀作品をもとに作成した安全啓発ポスターを貼り出しました。

<安全就業優良センター表彰：4センター>



文京区シルバー人材センター



荒川区シルバー人材センター



狛江市シルバー人材センター



三宅村シルバー人材センター

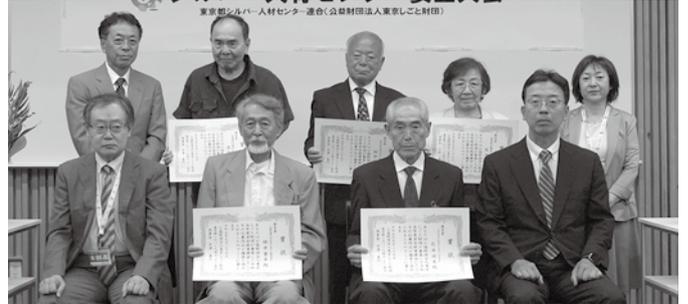
※表彰に続いて行われた三宅村シルバー人材センターの事例発表は4ページで紹介します。

安全大会

<令和5年度安全就業標語表彰>



最優秀賞(写真前列左二人目から：東大和市窪田様、江戸川区森本様)



優秀賞(写真後列左二人目から：瑞穂町渡辺様、北区田中様、豊島区坂口様
前列左二人目から：中央区楠井様、新宿区石井様)

安全啓発グッズの展示



今年度は会場後方にて安全啓発グッズの展示を行いました。各センターが独自に作成しているKYチェックリストや情報提供カード、就業ハンドブックなど、さまざまなグッズを展示したもので、来場者は他のセンターではどのようにして安全啓発が行われているのか、興味深く眺めていらっしゃる様子でした。



展示品の一例

安全宣言



事務局次長による安全宣言

今年度は4年ぶりに、「安全宣言」の全員唱和を行いました。財団事務局次長が代表して読み上げ、それに続き皆様と「安全宣言」を共有することで、改めて日々の就業の中で「安全はすべてに優先する」の基本理念に立ち返りました。



安全宣言

東京都の全てのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

- 1 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない
- 1 事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
- 1 事故の情報を分析し再発防止を徹底する

平成27年7月1日
東京都シルバー人材センター連合



令和6年度 安全就業標語募集中!

東京都連合では、安全就業に対する会員の意識向上に活用するため、都内シルバー人材センターを通じて、以下のテーマで標語を募集しています。

テーマ1 「自転車事故防止」

テーマ2 「センターごとに設定したテーマ」

応募方法：都内各シルバー人材センターにご応募ください。

締 切：各センターの応募締め切りをご覧ください。

最優秀作品は、令和6年度安全啓発ポスター等に掲載します。



令和5年度標語ポスター

安全就業に関する事例発表

公益社団法人 三宅村シルバー人材センター

三宅村シルバー人材センターの概要

当センターは男性83名、女性90名、合計173名の会員が就業しており、内容は、草刈・除草作業、施設清掃作業、施設窓口業務、農場運営・管理業務等多岐にわたります。

安全就業優良センターに選ばれるのは平成5年の設立以降初めてです。安全管理委員会が中心となり、さまざまな取り組みを行った結果、令和4年度の事故件数は0件でした。



左から岡田主事、堀井事務局長

①安全管理体制

当センターは安全管理委員会委員7名、安全支援員5名、安全推進員1名の計13名で活動しています。安全管理委員会を年4回、安全管理委員長パトロールと安全就業パトロールを各年6回実施。さらに毎年、熱中症予防、危険予知、転倒予防、交通安全（実技）、草刈作業、AEDなどの講習会を開催し、安全就業の推進に努めています。



②安全就業ワッペン[®]の着用

【目的】◎安全意識の向上、◎緊急時対応、◎名札として活用（令和元年より裏面に血液型記載欄を追加しました）

③熱中症予防対策

三宅村役場保健師による熱中症予防講習会の他、熱中症予防サイトを活用した注意喚起を行っており、中でも就業当日の朝食の摂取および水分持参と補給は、作業リーダーが健康チェックシートを使用し、作業前に確認を行っています。

令和4年度からは空調服を導入し、屋外就業会員および清掃等の屋内就業者を対象として貸与しました。貸与期間は5月から10月とし、いったん回収後、次年度以降も会員が空調服を使用できるよう、事務局で管理・保管しています。



④KYT（危険予知トレーニング）シートの毎月配布

令和3年10月から、月刊の会員向け広報誌「シルバーみやげ」に事務局で作成したKYTシートの折り込みを実施しています。シルバー保険事業室発行の事故予防対策集や実際の就業予定または就業中の現場を題材に、表面に当月分のKYTシートを、裏面に前月分の回答（予想される危険例と対策）を掲載しています。



⑤KYT勉強会の開催

3～4人の班に分かれて、イラストを見ながら危険箇所と危険に合わないための対策を話し合い、班ごとに話し合いの内容を発表します。今後は、就業班単位でも実施予定です。

今後は、現在実施中の安全対策を継続・改善し、危険予知活動のさらなる定着を目指していきます。また、健康維持や体力維持といった、けがをしにくい体づくり等にも取り組んでいきます。

安全大会基調講演

「事故防止対策の“見える化”と効果検証への取り組み」

今年度の安全大会では、基調講演として、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団と東京都連合の共同研究について、ダイヤ高齢社会研究財団研究部長の石橋様より、研究の概要と今後の展望について報告をいただきました。

シルバー人材センターで、就業中の事故撲滅のために取り組むさまざまな安全対策は、「本当に効果があるのか?」、そして「それはどうやって確認することができるのか?」

このような疑問を起点として、客観的な視点で安全対策の「見える化」に向けて、この共同研究をスタートしました。今後、数年にわたって効果検証を繰り返し取り組んでいく予定です。

研究は大きく3段階に分けて進めていきます

STEP 1

東京都SC連合の「安全就業に係る実績調査・相談表」から安全対策の取り組み状況を比較できる仕組みを構築する

計画は?

- ・安全管理委員会は年何回行うか
- ・転倒予防の会員向け研修は行うか
- ・健康づくりの取り組み予定は?

実績は?

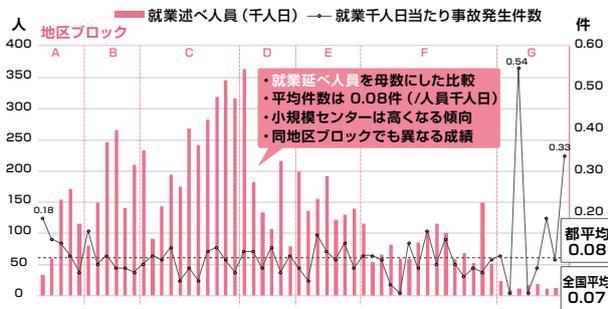
- ・安全管理委員会は年間、何回行ったか
- ・転倒予防の会員向け研修は行ったか
- ・健康づくりの取り組み実績は?

計画と実績の対比について、センター別にヒアリングし、全センターの集計を行う

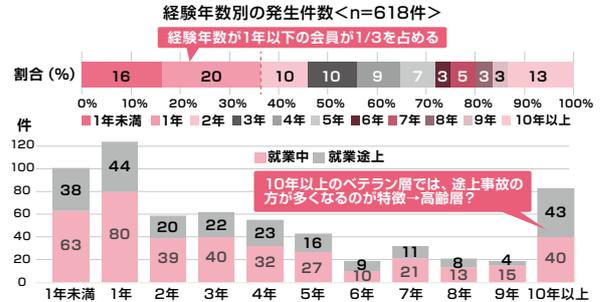
STEP 2

「安全対策実施状況データ」と「保険適用事故データ」を統合して、各種の安全対策の事故防止効果を検証する

就業延べ人員当たり傷害事故件数 <n=都内58センター>

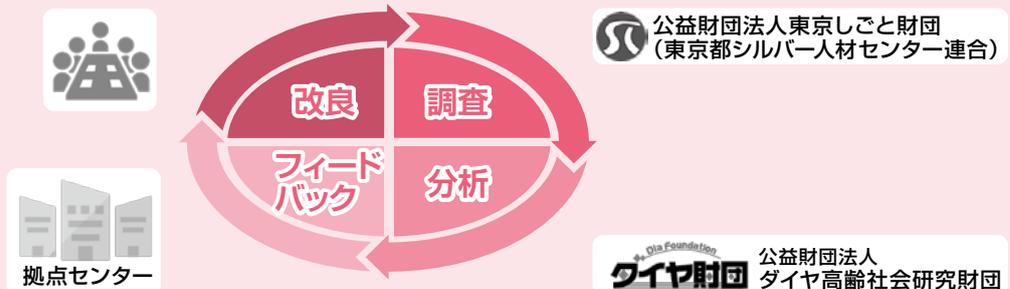


傷害事故の特徴：経験年数との関係



STEP 3

各センターは事故件数の低減に有効な対策を、自ら選択し、安全対策のPDCAサイクルを定着させていく



より実効性を持つ安全対策を展開していくためには、現状の取り組みを熟知し(調査)、取り組みと事故発生現状との突合せ(分析)を行い、何が足りないのか改善点を列挙(フィードバック)、新たな計画へと反映(改良)させていく、PDCAの流れを構築することが極めて重要です。

安全就業パトロール報告

～令和5年度前半を過ぎて～

安全就業パトロール指導員 坂東 寛

令和5年11月末現在、25センターを訪問し、就業現場への巡回と安全就業に関する調査・相談を実施しました。

関係者の皆様には、お忙しい中、ご協力頂きましてありがとうございました。訪問巡回したセンターの安全就業に対する取り組み状況を報告します。

なお、令和4年度は指導員2名体制でしたが、本年度は指導員1名で巡回しています。

令和5年度安全就業対策の重点項目の実施状況

(1)「安全就業基準(作業別含む)」の周知と遵守の徹底

安全就業基準については、ほとんどのセンターで入会説明会あるいは入会研修時に、配布、説明、遵守要請までが実施されていました。新型コロナ感染症対策から書面による説明・遵守要請をしていた一部センターも対面による入会時の説明会や研修会を再開しています。

就業の経験が1年未満の会員の傷害事故が多い中、安全に関する導入教育として、安全就業基準の理解を深めることは事故防止につながると考えられることから、さまざまな機会をとらえて、周知・説明・遵守要請を徹底することをお願いしています。

安全就業基準(作業別含む)を会員に周知する取り組み事例を紹介します。



「安全のしおり」と「自転車安全運転宣言」
(日野市シルバー人材センター)

日野市シルバー人材センターでは、安全管理委員会が新たに作成した「安全のしおり」を通して、①安全10ヶ条(安全就業の心得)、②事故の傾向、

③体調の自己管理、④健康管理・栄養管理等を会員に周知・遵守要請を実施するとともに、「自転車安全運転宣言～一人ひとりが安全を意識して～」により、会員の自転車の安全運転を宣言しました。

大田区シルバー人材センターでは、センター事務局と連携しながら、「適正・安全委員会」が主体的に活動しています。就業に伴う事故の未然防止と安全就業の推進に向け、作

業別安全基準を積極的に拡充しています。従前からの植木剪定や除草等に加えて、「学校清掃、マンション清掃、学校施設業務、いこいの家業務、薬剤投入業務、喫煙マナー等の啓発指導業務、公園等門扉開閉業務」に関する基準を独自に整備しています。

今年度は新たに「一人KY※」のための「自問自答カード」を策定し、危険予知活動の実施を会員に求めているとの報告がありました。

※KY=危険予知

(2) 経路途中の安全確保

～自転車利用時のヘルメット着用推進～

経路途中における傷害事故について、ほとんどのセンターが、歩行時および自転車利用時の転倒事故(または自損事故)を課題として認識しており、さまざまな取り組みが行われています。

巡回訪問した25センターのうち、会員の自転車利用が極端に少ない3センターを除く22センターでは、法令等の改正を踏まえて、「ヘルメット着用の啓発」および「損害賠償に係る各種保険・共済への加入推奨」が昨年度よりも活発に行われていました。加えて、「会員による自転車安全運転宣言」、「自転車安全利用チェックシートによる自己チェックを会員に求める」などがありました。

自転車安全講習会は、17センターで令和5年度計画に盛り込まれています。会員の自主的な自転車安全点検の推奨は、14センターで盛り込まれています。

(3) 安全管理委員会の活動の活性化(傷害・賠償責任事故防止)

～事故分析と再発防止策の検討、会員への情報共有～

センターの事務局体制にも限りがあることから、安全対策

の実効性を高めるには、安全管理委員会による主体的な活動が不可欠です。

センターが策定した安全就業実施計画に係るPDCAサイクルを適確に回していくために「事故分析のうえ再発防止策を検討し、その結果を会員に情報共有すること」、「安全管理委員会が行う就業現場パトロールから得られた情報を活用すること」に取り組んでいただきたいと思います。

(4) 危険予知活動の実施

～KY活動の徹底と一人KY活動の推進～

安全就業パトロールでは、危険予知活動の展開は最重要課題と位置付けて推進しています。令和3年度より、各センターの活動状況や会員の理解度に応じて、各センター独自の危険予知活動の取り組みを要請してきました。提案している導入の流れは以下のとおりです。

- ① 危険予知活動の導入段階として、KYシートや実際の事故事例に基づく「危険予知訓練(KYT)」の実施
- ② 次に、グループ就業向けの危険予知活動として、「就業前ミーティング(KYミーティング)」の実施
- ③ あわせて、一人就業向けの危険予知活動として、KYカード(自問自答カード)などのチェックリストを使用した「一人KY活動」の実施。

会員一人ひとりが就業現場で実践することより、「自分の

身(=安全)は自分で守る」ことを習慣化(腹に落としてもらうこと)していただくよう推進したいと考えています。

三宅村シルバー人材センターでは、毎月発行の会員向け広報誌「シルバーみやげ」に、毎回、「危険予知トレーニングシート」を添付し、危険予知訓練を会員自ら実施してもらっています。表面には当月分の危険予知シート、裏面には先月号の予想される危険例と対策を掲載しています。この取り組みを令和3年10月号から毎月続けていることがポイントです。

中野区シルバー人材センターでは、家事援助、児童見守り、広報誌配布等の職種別「一人KYカード」による危険予知活動に取り組んでいます。安全管理委員会等と担当職員が連携して、新たな職種に関するKYカードを作成中で、活動範囲の拡大に取り組んでいます。



職種別の「一人KYカード」
(中野区シルバー人材センター)

健康管理&体調管理の徹底に係る取り組み

品川区シルバー人材センターでは、健康増進・転倒予防策として、会員に「つま先立ち体操」を推奨しています。センターの強い意識を示すために、①総会、②理事会、③安全管理委員会、④各種研修会等の開催にあたり、開始前にこの体操を盛り込んでいます。

東村山市シルバー人材センターでは、植木班会員が、就業開始前に、センター事務所前に集合し、独自のストレッチ体操をしてから各就業現場に向かっていきます。

日の出町シルバー人材センターでも、朝8時30分に、センター前の敷地で、屋外作業を行う会員が、就業現場に向かう前に準備体操を行っています。

あきる野市シルバー人材センターでは、体調管理・健康管理に関する意識向上のために、体調や安全に係るチェックリスト「個人別安全確認報告書」により会員自らが点検した結果を毎月の「就業報告書」に添付して提出を求めています。

杉並区シルバー人材センターでは、広報誌「シルバーすぎなみ」で、自治体等の協力のもと、会員の「健康管理」、「健康増進」、「フレイル予防」、「感染症対策」等に関する情報提供と注意喚起を発信しています。

会員の平均年齢が上昇する中、安全就業の推進のためには、会員自らが取り組むべき「健康管理の徹底」は重要な前提になると考えております。

豊島区シルバー人材センターでは、発注者の了解を取付けたうえで、強い日差しに起因する熱中症から会員を守るため、児童通学案内の就業中に使用する「日傘」を配布しました。



直射日光を避ける
センターの名前入り「日傘」
(豊島区シルバー人材センター)

中央区・文京区・清瀬市SCが傾聴業務を受託

【分身ロボットの遠隔操作により、施設スタッフの代わりにSC会員が施設入居者の話を傾聴】

高齢者施設の入居者は、コロナ禍では面会等が大幅に制限されてきました。入居者にとって人と会話することは重要である一方で、施設スタッフは十分に時間を取ってお話の相手ができない現実もあります。そこで、シルバー人材センター会員が、センター事務所等から分身ロボットを遠隔操作して、施設スタッフの代わりに入居者のお話を聴く傾聴業務を受託しました。この傾聴により、入居者の方の精神的な安らぎにつながることが期待されています。



●東京しごと財団主催「傾聴スキル事前研修」(3時間)

事前研修として「傾聴とは何か」「入居者が望んでいること」「傾聴の時に心がけたいこと」を講義で学び、体験学習(実践的演習)を行いました。

〈参加した会員の感想〉

「人は話したい欲求と本能を持っているということを演習で実感できました」

●傾聴業務の感想(文京区シルバー人材センター会員 大友さん)

アレルギーの患者さんとそのご家族支援の電話相談を受けていた経験があります。今回の傾聴では、入居者の方の表情が明るくなったり、ご自身から言葉を発して下さったり、入居者の方の変化が見られたときには喜びを感じています。



文京区シルバー人材センター



高齢者施設

「東京手仕事展」(東京都中小企業振興公社主催) 通訳業務

東京の伝統工芸品を新しく現代に創生し、その魅力を国内外に発信する「東京手仕事展」が都内の百貨店で開催され、中央区シルバー人材センターの会員が、外国人来店客への伝統工芸品販売の通訳業務を担いました。

●通訳業務の感想(中央区シルバー人材センター 堀さん)

大手鉄鋼メーカーで年中世界各国へ出張、海外赴任もしていましたが、SCに入って語学スキルを活かした仕事は初めてです。今回、中国人のお客様も多かったので、英語だけでなく中国語でも対応でき、脳が活性化したような感覚でした(笑)。普段は清掃などスポットで手が足りない仕事を引き受けていますが、職域が広がることは、会員にとってうれしいことですね。



通訳業務を担当した堀さん



「東京手仕事」商品販売

●発注者様からの声

お客様への対応は腰が低く丁寧で、好感度抜群! 販売員のご経験がないにもかかわらず、接客は安心してお任せできました。インバウンド需要の取り込みには、外国語での会話が必須ですので、今後も頼りにさせていただきます。

令和5年度 総務省 デジタル活用支援推進事業

本事業（令和3～7年度実施）は、年齢等によるデジタルデバインド（情報格差）の解消を図り、誰もがデジタル化の恩恵を受けられる社会の実現を目的としています。

令和5年度採択されたセンター 文京区・中野区（2回目）、調布市・羽村市（3回目）

今回は、羽村市シルバー人材センターの中で、今年度スマートフォン（以下スマホ）講師デビューされた会員お二人にインタビューしました。

◎会員インタビュー ～スマホ講師デビューまでの道のり～

Q.スマホ講師になった経緯は？

A.2月にSCチラシにあった「パソコン講師募集」に興味を持ち入会しました。前職の経験からパソコン講師に興味がありましたが、スマホ講師のお話をいただき、9月から本事業の講師になりました。



講習会の様子

Q.講師デビューまではいかがでしたか

A.講師になるためのeラーニング研修でスマホの知識や教え方を習得することができました。研修内で意外と難しかったのが、講師として参加者に伝える例文を、決まった時間内に読み上げる練習です。

Q.実際の講習はいかがですか？

A.久しぶりに人前で話すので、まだ緊張しながら講義を行っています。時計を手元に置いて、講義の時間配分に気を付けています。参加者の方から「役に立った」と聞くと嬉しいです。



新しい講師（左・中央）と昨年から講師（右）

◎羽村市SC職員より

新しい講師の方は入会時にパソコンの知識もあり、落ち着いた雰囲気も持ち合わせていたことから、講師に向いていると思いを掛けました。講師体制も充実してきたので、センター事業としてスマホ教室をさらに推進していきます。

●東京しごと財団主催 講師勉強会

港区SCの会員講師の下、スマホ講習会の講師としての知識、講義の進め方を共有しました。羽村市SCの講師もご参加いただきました。



勉強会の様子

東京都デジタルサービス局主催 スマートフォン体験会

13シルバー人材センターに会場提供、広報等のご協力をいただき、スマートフォン体験会（都デジタルサービス局主催）が開催されました。

本事業は、スマートフォンをお使いでない方や、操作に不慣れな方が、楽しみながらスマートフォンを体験できる事業です。今後、センター運営事務のデジタル化と並行して、会員にもデジタル機器の操作に慣れていただくことが求められている中、「まずは触れてみる」一助として活用いただきました。また、地域の方も参加され、SCを知ってもらう機会にもなりました。



新島村SC開催の様子

令和5年度 協力SC

新宿区・杉並区・足立区・豊島区・江戸川区・国分寺市・多摩市・新島村・神津島村
（開催予定）北区・清瀬市・西東京市・三宅村

10/14開催 ～新島村SCから～

携帯ショップが展開されていない地域特性から、「質問したくても聞ける場所がない。また開催したい」との声をいただきました。

島しょ部
3SCで
初開催!



シニアしごとEXPO2023

東京都主催の「シニアしごとEXPO」が、今年度も開催されました。新宿会場は、10月3日に新宿NSビルイベントホールで行われ、東京都連合の他に新宿区SC、江東区SC、豊島区SC、西東京市SCが出展しました。サブステージでは、町田市SCが「元気はつらつシルバーボール体操」を披露しました。また、中野区SCがタブレットを用いた参加者アンケートのサポート業務を受注しました。



新宿会場



八王子会場

多摩地域は、例年立川開催でしたが、今年度からは八王子の東京たま未来メッセで10月18日に行われ、東京都連合と八王子市SC、日野市SC、国立市SC、多摩市SCが出展しました。タブレットによる参加者アンケートは八王子市SCが受注しました。

今年度は、合わせて10SCの参加がありました。参加された皆様ありがとうございました。

「シニアしごとEXPO」は来年度も予定されています。多くのセンターの出展をお待ちしています。

シニアしごとEXPO2023での シルバー人材センター(SC)会員の就業の様子をご紹介します!

タブレットでのアンケート回答案内・サポート業務

中野区・八王子市シルバー人材センター

中野区・八王子市SCの会員が、来場者にタブレットでアンケートにお答えいただく際の回答の呼びかけとサポート業務を行いました。

中野区SCからは、普段スマホ教室で講師として活動している会員が参加され、タブレットの見やすさ・使いやすさにこだわってサポートいただきました。また、八王子市SCも、シルバーならではの目線でご案内いただき、好評を得ました。

中野区SC会員



会員からの提案!

タブレットの表示される文字を大きくしてご案内しよう

スマホとタブレット操作は似ているので案内しやすかったです



八王子市SC会員



会員からの提案!

画面が押しづらそうな方へは、タッチペンを使ってサポートしよう



セミナープログラム業務

町田市シルバー人材センター 元気はつらつシルバーボール体操

新宿会場のセミナープログラムでは、片岡鶴太郎さんのセミナーや由美かおるさんのトークショーなどが催され、町田市SCもボール体操を企画し、会場を盛り上げました!



町田市SCの「ほくし会」は、市からの受託事業の講座参加者に声をかけ、チームを結成!



ボール体操は、「身体への気づき」「調整」「交流」を目的に実施



「オンリーワンの身体をつくっていこう! 健康とは自ら守るもの、体力とは自らつくるもの」と語る池野会員

「介護予防・日常生活支援総合事業」の現況について

～コロナ禍以降、契約実績が低迷する中、実績を伸ばすシルバー人材センターも～

シルバー人材センターにおける対人サービス業務のひとつとして、すっかり定着した感のある「介護予防・日常生活支援総合事業」ですが、コロナ禍を境に令和2年度以降は契約実績が減少に転じています。そのような中でも実績を伸ばしているセンターの事例をご紹介します。

東大和市シルバー人材センター（以下東大和市SC）では、訪問型サービスAとして東大和市から認定を受け、現在20名の会員がこの業務に従事しています。

市内には地域包括支援センターが4箇所設置されており、東大和市SCはここから業務を受託しています。

しかしながら、「要支援1、2」までのサービス提供は、利用者が「要介護」に移行した場合、一般的に事業者やケアマネジャーの再選定となり、慣れた支援者が変更する事態を避けるため、「要支援1、2」の取扱いが少ない支援センターもあります。

このような環境下にあっても、なお実績が伸びている理由について、東大和市SCの担当コーディネーター職員に伺ったところ、「各支援センターのケアマネジャーとの良好な関係を築くことを大切にして、常日頃の情報交換を欠かさないようにしている」とのことです。

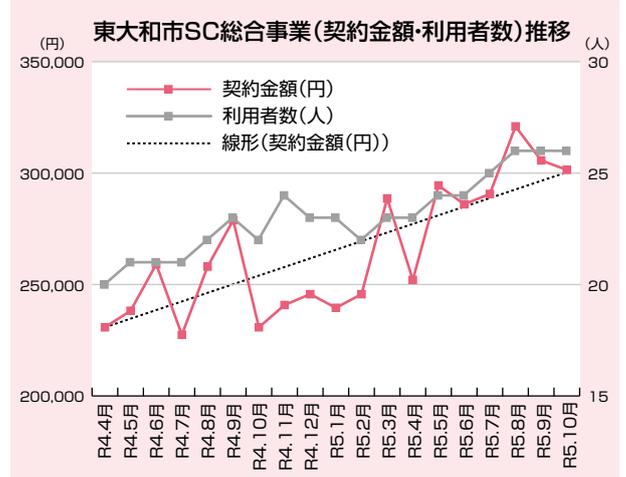
さらに、「ケアマネジャーから『シルバー会員は、きちんと対応してくれるから』という評価をもらえることも多く、このような信頼の積み重ねが次の契約につながっているのではないかとのことでした。

市内の民間介護事業所では、「要介護」と「要支援」の両方の事業を取り扱っていることが多く、その場合はヘルパー職員の十分な確保が難しいことから、要介護者との契約を優先せざるを得ない状況です。一方、多くのセンター同様に、東大和市SCの総合事業も要支援対応のみであり、加えて、元ヘルパー経験者の会員が11名在籍することが、昨今の深刻な人手不足の状況下では大きな強みとなっているようです。

今回のお話を伺って、「今後も、各包括支援センターとの大きな信頼関係を大切にしながら、地域に信頼され、選ばれる事業者であり続けたい」という事務局全体の熱意が伝わってきました。

このほか、都内センターでは、訪問型サービスBの実施も多く、高齢者宅の家事援助サービス業務の受託を通じて、契約につながるケースが中心です。やはり依頼者やその家族との信頼関係が極めて重要です。

総合事業は実施において、何かと制約の多い面がありますが、いずれの場合も関係者や関係機関との信頼関係構築を円滑に進めることが、実績拡大の鍵であることは間違いありません。これらを踏まえて、東京都連合では、引き続き総合事業の推進に向けて研修実施などの支援に取り組んでいきます。



ケアマネジャーと共に利用者宅で打ち合わせ

福祉・家事援助サービス事業研修開催予定（令和6年1月～3月）

今年度1月以降の福祉・家事援助サービス事業に関する会員向け研修等の予定は以下となります。



研修名	定員	日程	会場
生活支援サービス研修(第5回)	25	2/6(火)～14日(水)	三多摩労働会館(立川市)
生活支援サービス研修(第6回)	25	2/29(木)～3/15(金)	すみだ産業会館・本所消防署
福祉・家事担当者交流会(第2回)	-	2/16(金)	三多摩労働会館(立川市)

お問い合わせ シルバー事業係 TEL:03-5211-2314

*日程及び開催場所は諸事情により変更となる可能性があります

適正就業のポイント

就業現場における適正就業確認のお願い

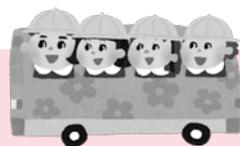
新規契約の際だけでなく、就業現場を巡回する際、契約更新の際などに、適正な状況が継続されているか確認をお願いします。

- 契約書や関係書類は整っていますか？
- 臨・短・軽の範囲を超える就業が、恒常的に発生していませんか？
- 発注者の雇用する労働者との混在就業はありませんか？
- 発注者が、会員に作業内容やシフトを直接指示していませんか？
- 契約書に書いていない仕事内容を、行ってしまっていないですか？
- 会員の仕事量が、発注者側のペースにより左右され、その日の就業の時間、仕事量を会員ご本人で決められない状況になっていませんか？
- 現金の取扱いがある現場では、適切な取扱いがされていますか？



～具体例の解説～

業務内容 幼稚園、学校等のバス送迎に係る業務



バス送迎に係る業務は、幼稚園、学校等からの指揮命令が前提となります。

①幼稚園（特別支援学校幼稚部、幼稚園型認定こども園含む）、②幼保連携型認定こども園、③地方裁量型認定こども園、④保育所等、⑤認可外保育施設、⑥障害児通所支援等、⑦特別支援学校（小学部・中等部・高等部）、⑧小学校以上の学校、⑨放課後児童クラブの施設における、幼児等のバス送迎に係る業務について、バスの乗車・降車時に幼児等の所在の確認が確実にされるようにするため、府省令等の改正により、幼児等の所在確認が義務付けられています。所在確認業務が義務付けられている場合は、労働者派遣契約とすることが必要です。現在、受注している案件の学校等について、所在確認業務が義務付けられているか、発注者及び管轄の教育委員会、児童福祉関係担当部署等に確認し、適切な対応を行ってください。



しるとうで知る！センターの取り組み

港区シルバー人材センター

会員目線の講義がわかりやすいと大好評！

シルバー会員講師による会員のための会員向け接遇研修

港区シルバー人材センター（以下港区SC）では、平成25年度から会員講師による会員向け接遇研修を開始。実際に就業の場で起きたクレームやトラブル対策を題材に取り上げたり、ワークショップで受講者間のコミュニケーション促進を図るなど、会員目線に立った研修のノウハウを培ってきました。現在、4人の講師グループで運営全般を担っており、今年度は港区以外のシルバー人材センターや民間企業からの依頼も受けるまでになりました。



世田谷区SCで行われた研修会

研修の内容は、依頼先のセンター・企業の要望を取り入れながらアレンジできるそうで、毎回、研修担当者にも寄り添うことを心がけているとのこと。

この事業の立案に携わった港区SC堀局長代理は「接遇研修以外にも個人情報保護法、ハラスメント、高齢者特有の性格の変化についてなど、ニーズに合わせた研修も対応可能です。港区SCの経験を活かし、他のセンターや地域の皆様のお役にたてばうれしい」と語っています。センターの強みを生かした新しい取り組みに注目です！

お問い合わせ 港区シルバー人材センター TEL:03-5232-9681

職員向け経営支援研修

～会員・運営面に関する研修の実施～

10月27日(金)に経営支援担当係による初の研修として、①会員の入会促進・退会防止、②業務の効率改善・生産性向上に関するセミナーを実施しました。

参加者の声

- 会員入会促進の手法について参考になった。
- 各センターのやり方を聞いて良かった。
- グループワークで他センターとの情報共有ができた。
- 業務効率化、生産性向上のヒントを得ることができた。
- これまで受けた研修で最も参考になった。



今後も研修を予定しております

「会員関連のお悩み解決! 会員の入会促進・退会防止セミナー」

- 日時: 1/25(木) 10:00～12:00
- 会場: 東京しごとセンター多摩 5階セミナー室 502教室
(立川市柴崎町3丁目9-2 立川市合同施設)
- 研修講師: +M Consulting Labo代表 中小企業診断士 大村 貴志 氏
(一社) 東京都中小企業診断士協会 会員
※マーケティング理論を活用した中小企業の経営相談事業、経営支援セミナーの経験多数

研修の申し込み、個別相談・専門家派遣についてのお問い合わせは、以下までお気軽にご連絡ください。
シルバー経営支援担当係 Tel: 03-5211-1552 Mail: sc-keiei@shigotozaidan.or.jp

個別相談、専門家派遣も引き続きお申込みを受け付けております

左記の大村氏を含む、(一社)東京都中小企業診断士協会所属の中小企業診断士がSCへお伺いし、センターが提供するデータや相談内容を基に、課題抽出や要因整理など改善に向けた今後の方向性について助言をいたします。

シルバー人材センター等労働者派遣事業



令和5年度上半期は事業所開設53地区のうち48地区事業所において派遣事業を実施しており、事業実績は以下のとおりです。

昨年同時期と比べると、受託件数は増加していますが、契約金額と就業延人員は減少しています。これは、ある事業所において公共機関からの大規模受注案件が民間会社へ移行したことが要因と考えられ、当案件の実績を除くと契約金額、就業延人員ともに昨年比で増となります。

なお、受託件数、契約金額及び就業延人員を事業所別で見ると、約6割の事業所が昨年より実績増となっています。

労災事故については、上半期は21件で昨年同時期と同数です。通勤途上は5件のうち3件は自転車による事故でした。自転車は自分が負傷するだけでなく、相手にもケガをさせる可能性があるため、利用時には十分注意が必要です。

事故の内訳は転倒が10件と最も多く、うち7件は骨折する重傷です。段差や障害物につまずく事例が多く見られます。

2024年4月からの労働条件の明示事項変更など、関連法の改正が頻繁に行われているところですが、今後も各種法令を遵守し、各派遣事業所と協力しながら事業の適正な運営に努めていきます。

	会員数 (人)	受託件数 (件)	契約金額 (千円)	就業延人員 (人日)
令和5年度	9,829	4,597	858,723	138,381
令和4年度	9,121	4,058	892,556	146,507
増減比	+7.8%	+13.3%	-3.8%	-5.5%

(令和5年9月末現在)

「シルバー人材センターに入会しませんか」

楽しくて、為になるイベント・講習会 \ 絶賛開催中 //

シルバー人材センターの仕組みや魅力について、地域の高齢者等に知っていただくことを目的としたイベント・セミナーを都内各地で展開中です。その一部をご紹介します！

これからシルバー応援フェスタ

令和5年10月20日(金)
江戸川区～タワーホール船堀

令和5年10月24日(火)
文京区～文京シビックホール

令和5年10月27日(金)
渋谷区～美竹の丘 多目的ホール



▶「働くことは、健康と長生きに繋がる」
ご講演：医師・作家 鎌田 實 氏

▶「地域社会に役立つコミュニケーション
～まず、自分が元気になろう～」

▶「若返るのはどっち？
ナグモ流 奇跡の若返り術」

▶シルバー人材センターのご案内
江戸川区シルバー人材センター会員の皆様

ご講演：女優・心理カウンセラー
大場 久美子 氏

ご講演：ナグモクリニック総院長
医学博士 南雲 吉則 氏

▶シルバー人材センターのご案内
文京区シルバー人材センター会員の皆様

▶シルバー人材センターのご案内
渋谷区シルバー人材センター会員・職員の皆様

【11月以降の開催内容】

- | | | | |
|----------------|------------------------|-------------|---------|
| ▶令和5年11月14日(火) | 板橋区立グリーンホール | お笑いタレント | 山田邦子 氏 |
| ▶令和5年11月20日(月) | くにたち市民芸術小ホール | タレント | ヨネスケ 氏 |
| ▶令和5年11月30日(木) | 東久留米市立生涯学習センター まろにえホール | 女優・心理カウンセラー | 大場久美子 氏 |
| ▶令和6年 1月22日(月) | 府中市市民活動センター プラッツバルトホール | 俳優・タレント | 毒蝮三太夫 氏 |

高齢者活躍人材確保育成事業

保育のお仕事セミナー

- 実施日時** 令和5年5月31日(水)
14:00～16:30
- 場所** 文京シビックセンター
- 内容** 初心者向けに保育の役割、保育補助の心得、子どもの遊び等を紹介(14名参加)



プロが教える!洗濯講習

- 実施日時** 令和5年7月3日(月)
12:30～16:00
- 場所** 東村山市シルバー人材センター会議室
- 内容** 洗濯絵表示について、家庭洗濯とプロの洗濯の違い、やっちゃいけないアラカルト(11名参加)



時短でできる!おいしい健康食!調理セミナー

- 実施日時** 令和5年7月26日(水)
10:30～15:00
- 場所** 杉並区井草地域区民センター料理室
- 内容** 家事援助で行う調理のお仕事や日々の暮らしに役立つ調理方法を紹介(19名参加)



プロが教える!洗濯講習

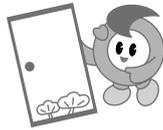
- 実施日時** 令和5年7月31日(月)
12:30～16:00
- 場所** 調布市シルバー人材センター会議室
- 内容** 洗濯絵表示について、家庭洗濯とプロの洗濯の違い、やっちゃいけないアラカルト(13名参加)



会員拡大に向けて「シルバー体験講習」とあわせてぜひご活用ください!

令和
5年度

会員向け技能講習



東京しごと財団では、シルバー人材センターで就業を希望する会員の方を対象とした講習を実施しています。
令和5年度1月以降は、以下の講習を実施します。

職域拡大技能講習（レベルアップ）

コース名	定員 (人)	日数 (日)	講習期間	講習会場
襖の張替え 「襖の張替え」の基本的な事柄を再認識し、技術向上を図ると同時に安全で効率よく襖を張替えることができるプロのコツ等を実技で学ぶ	15	3	令和6年3月5日(火)・6日(水)・7日(木)	ニチレイ水道橋ビル

※令和5年度は、5講習の実施を予定していますが、1月以降に募集が行われる講習のみを掲載しています。

就業支援講習（基礎的な知識・技能の習得）

※令和5年度の募集は全て終了しています。

※所属のシルバー人材センター事務局経由でのお申込みとなります。

☆令和6年度の募集は、2月以降にご案内の予定です。

お問い合わせ シルバー講習担当係 TEL:03-5211-2326

令和
5年度

シルバー人材センター役職員研修 東京都連合の取り組みについて



連合では、理事・監事を対象とした「役員等研修」と事務局職員を対象とした「職員研修」を実施しています。また、受講者アンケートをもとに、毎年度内容の見直しを行い、魅力のある研修となるよう取り組んでいます。

役職員研修実施予定（1月～3月分）

対象	研修名	開催日	内容
職員	決算実務	1月22日(月)	決算時における書類作成のポイント
	課題改善研修(後期集合)	1月24日(水)	取り組みの報告
	総会運営	1月26日(金)	事前準備のポイント
	非行防止・個人情報保護(第2回)	2月27日(火)	悉皆研修

※開催日は都合により変更になる場合があります。

研修紹介：職員研修「新任職員」

新任職員を対象として毎年、新任職員研修を行っています。

今年度は、センターの実務についての講義や、しごとセンターの施設見学も取り入れた研修を実施しました。また、研修の最後には先輩職員との交流会を実施しました。その際、新任職員は積極的に質問し、先輩からの「生の声」を聞くことができました。

受講者からは「シルバー人材センター職員の仕事の進め方の見本を学べた」、「社歴や年齢の近い、他センターの職員と交流できた」といった声が多く寄せられました。

シルバー保険事業室だより

東京都では、令和2年条例改正により、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の加入が義務となっています。

① 依然として未加入者がいます

東京都では、令和5年2月に加入状況の調査を行いました。令和2年度の調査結果と比較すると、条例改正による「義務化」で加入率が上昇しましたが、現時点でも未加入者が2割以上います。

東京都内で自転車を利用する皆様は、改めて、自転車損害賠償保険等への加入状況の確認をしてください。

加害者となってしまうリスクに備えましょう!

令和2年度調査(令和3年2・3月実施)				令和4年度調査(令和5年2月実施)			
年代	自分で加入している	世帯主が加入している保険によりカバーされている	加入済み計	年代	自分で加入している	世帯主が加入している保険によりカバーされている	加入済み計
60代	49.3%	15.0%	64.3%	60代	58.5%	20.8%	79.3%
70代	52.0%	19.0%	71.0%	70代	50.0%	23.8%	73.8%

出典：令和2年度及び令和4年度の「自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に関する加入状況調査 報告書」(東京都都民安全推進本部)

② ヘルメット着用を!

自転車利用でのヘルメット着用の同上令和5年2月調査では60代:着用している3.1%、時々着用している5.4%、70代:着用している3.1%、時々着用している3.1%に留まっていて、道路交通法や東京都条例での自転車ヘルメット着用義務の遵守と徹底が必要です。

東京しごと財団では、「サイクル安心保険」をご案内しています。 お問い合わせ シルバー保険事業室 TEL:03-5211-2319

おしゃれなヘルメット



着せ替え用帽子付き自転車ヘルメット「カポル」



冬にピッタリな
温かい素材のタイプ

サイズはS:52-55cm、M:56-59cm、L:59-62cmの3種類
(日本人の頭部形状に合わせた適正サイズ)

カポルは帽子のデザイン性とヘルメットの安全性がひとつになった製品※¹です。帽子だけを変えられますので季節や気分に合わせて着せ替えが楽しめます。また、街を歩くときは、オシャレな帽子として自転車に乗るときは安全で快適なヘルメットとして使用できます。

一般社団法人 全日本交通安全協会推奨!

※カポルは公益財団法人 東京しごと財団との共同開発製品です。

※1:POCOシリーズおよび一部デザインに帽子機能の無い製品がございます。

■お問合せ先

株式会社日本パレード フリーダイヤル ☎0120-71-8010

<https://www.nippare.com/capor/>

Envision the value,
Empower the change



エイジレス80

シルバー人材センターのための
総合情報処理システム

NRIは、中央省庁、地方自治体および企業の皆さまのニーズに応じて、
公共政策、公共経営に関する調査コンサルティング活動を行っています。

近刊の「パブリックマネジメントレビュー」(月刊)レポートタイトル

- ・社会課題を事業化するとは
- ・新たな政策課題を担う「横断活動」のあり方と進化の方向性
- ・規模から密度へ、地方創生における発想の転換

「パブリックマネジメントレビュー」は、広く皆さまへ公開し、日頃の政策立案、事業展開にお役立ていただくためのニュースです。
レポートは、野村総合研究所(NRI)のホームページよりご覧いただけます。

(お問い合わせ先)

<https://www.nri-social.co.jp/>

「エイジレス80」は東京しごと財団と野村総合研究所の登録商標です。

NRI社会情報システム株式会社

〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25 タワーS棟
TEL 03-6660-9766 FAX 03-6660-9767

シルバー
テキスト

植木の仕事初心者は必携!

シルバー人材センター

安全就業ガイド 植木編

植木就業は会員に人気の高い仕事ですが、大小問わず事故につながりやすい仕事とも言えます。作業を進めるにあたり多くの遵守事項があり、脚立を用いた高い足場での作業や刃物の取り扱い、住宅地での作業では特に周辺への配慮が欠かせません。

本書は植木作業で安全に働くためのポイントを簡潔にまとめています。

全編カラーイラストによるわかりやすい解説で、おすすめの1冊です。



令和3年11月発行
B6判 19ページ
定価162円(税込・送料別)

目次

- ・作業前後のチェック表・植木編安全心得10か条
- ・脚立使用作業・梯子使用作業・樹上での作業
- ・刈り込み作業・運搬作業・炎天下での作業
- ・交通安全・健康管理

公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター

TEL 03-5211-2314

URL <https://www.tokyosilver.jp/>

シルバーとうきょうは、東京都シルバー人材センター連合のホームページからもご覧いただけます。

個人情報の取扱について

公益財団法人東京しごと財団では、「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)、「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」及び関係諸法令等の遵守徹底を図るとともに、個人情報を適切かつ安全に取り扱うため、個人情報保護基本方針を制定しています。個人情報の取扱の詳細はホームページ(<https://www.shigotozaidan.or.jp/>)または、窓口でご確認ください。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用